

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若年対象コース		
事業名	地域特性を活した環境リサイクル分野の従事者育成プログラム		
法人名	学校法人 新潟総合学院		
学校名	専門学校 国際情報工科大学校		
代表者	理事長 池田 祥護	担当者 連絡先	村上 史成 TEL 024-956-0030
1. 事業の目的			
<p>現在は全国各地で様々な循環型社会形成に向けた取り組みが行われている。福島県内の各地域においてもその重要性が認識され、自治体や建設・造園関連企業や廃棄物処理企業、農業法人などを始めとした様々な企業が連携し、地域特性を活かした資源リサイクルや地域環境整備事業への取り組みが積極的に推進されており、同分野への雇用機会が増加している。</p> <p>一方、昨今の経済環境の変化や環境保全意識の浸透から、若年者においても1次産業や環境関連分野に対し具体的に就労を希望する者や、漠然と興味を持つ者も増加している。</p> <p>しかし、この分野は一企業で完結するものではなく各産業が連携して推進する必要がある、また廃棄物処理法などの法的な規制も存在することから、人材には各分野の専門知識・技能に加え、地域の環境特性や関連する分野の幅広い知識、法律の知識なども求められる。また就労に際しては、屋外での作業や廃棄物の取り扱いなどが想定され、安全性の配慮や就業継続への高いモチベーションも求められ、人材の需要と供給にミスマッチが発生している。</p> <p>このような状況を踏まえ、本事業では若年者に対して、地域での循環型社会形成に向け取り組んでいる学識経験者、NPO法人、企業との連携の下、本校の持つ環境分野の教育実績・教育ノウハウを元に、地域自然環境の視察や企業見学、企業実習を組み込み、地域ニーズに合った、1次産業や環境リサイクル事業に取り組む企業への就労を目指した教育プログラムの開発と実践を行う。</p> <p>受講者には本講座の受講志望理由や将来の希望をヒヤリングし、キャリア形成に向けたアドバイス、就職支援、就職後の定着状況を調査しフォローアップを行う。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>①必要な知識・技能習得の為の座学・演習の実施</p> <p>②地域環境の実情を知り環境保全の必要性を理解する為のセミナー、見学会、フィールドワーク開催</p> <p>③就業に必要な産業車両運転資格などの取得推進</p> <p>④企業インターンシップ実施</p>			

上記①～④をバランスよく組み合わせ、地域ニーズに合った実践力ある人材を育成する。更に、受講者には本講座の受講志望理由や将来の希望をヒヤリングし、ビジネススキル習得、キャリアカウンセラーによるミスマッチ防止に向けた面談や、修了後のフォローも行う。また、自立支援アドバイザーを配置し、働く事への意識付けもタイムリーに実施する。

講座の内容、時間数

座学期間 8月24日～9月11日 その他下記日程

＜座学＞	環境整備施工学	12時間
	環境関連法規	12時間
	環境生物・植物・食品知識	12時間
	リサイクル技術	12時間
	産業機械・安全作業知識	12時間
	ビジネス実務・キャリアアドバイス	12時間
＜実習＞	・8月28日（金）なんだべ村 農業実習	6時間
＜見学＞	・9月4日（金）國分農場・県農業センター・ひまわり見学	8時間
	・9月11日（金）富久山クリーンセンター・富久山リサイクルプラザ ミツヤマグリーンプロジェクト・白河ウッドパワー大信発電所見学	8時間
＜企業実習＞	企業インターンシップ 9月28日（月）～10月2日（金） ・ミツヤマグリーンプロジェクト	30時間
	合 計	124時間

技能習得等

9月22日（火）～23日（水）	「プロジェクト・ワイルド」一般指導者養成	16時間
10月3日（土）	体験的環境教育指導者講習	7時間
10月8日（木）～10日（土）	大型特殊自動車免許取得	7時間
10月13日（火）～16日（金）	中型自動車限定解除	6時間
10月21日（水）～28日（水）	フォークリフト技能講習	11時間
11月4日（木）～5日（金）	チェーンソー特別教育資格	16時間
11月10日（火）～12日（木）	小型移動式クレーン技能講習	20時間
11月13日（金）～15日（日）	玉掛け技能講習	15時間
11月16日（月）	刈り払い機特別教育資格	6時間
11月8日（木）～19日（土）	車両系建設機械（整地・運搬・積込み・堀削）技能講習	14時間
12月11日（金）～12日（土）	高所作業者運転技能講習	12時間
12月17日（木）～18日（金）	締固め用機械（ローラー）技能講習	10時間
12月23日（水）	車両系建設機械（解体）技能講習	3時間

内部キャリアコンサルタントによるコンサルティングの機会を5回
外部自立支援アドバイザーによる面談を1回実施

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

1次産業や環境関連分野に関心のある18歳から35歳までの者 定員10名での募集
募集リーフレットの作成・配布。

募集期間 （7月9日～8月7日）

配布先 県内職安（5ヶ所）・市内公民館（約20ヶ所）・本校保護者（約400名）

新聞折込広告 50000部 2回 (7月12日、8月2日)
新聞募集広告 福島民報・福島民友 2回 (7月19日、7月26日)
問い合わせ件数 8件 受講申し込み 3名 受講決定 2名 1名は初日辞退

③受講者の状況

受講者2人の内訳
31歳男性 (20歳で専門学校卒業後ニート)
51歳男性 (前職を希望退職後すぐの申し込み)

④受講者の意識調査等

受講者は2名とも積極的に取り組み出席率は100%であり、満足度は
大変満足:2人(100%)であった。

⑤受講後の状況 (修了者数・就職率)

受講者2名共に出席率100%であったため、修了証を交付した。
就職率は50%、30代男性1名がNP0法人(正規雇用)への就職、50代男性は現在も就職
活動中で
あり、事業終了後も継続し支援をして行く。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

環境・リサイクル分野の従事者を育成する教育プログラムの実践において、学識経験者、
NP0法人、関連企業と連携をとりカリキュラムを構築したため講座内容は充実したもの
になった。また、農業体験及び環境・リサイクル関連企業の見学を通し、環境産業へ就労す
るための知識、必要な技能資格を知ることが出来、受講生の環境関連への就労意識の向上
にはつながったと考える。受講生の意識向上から、産業機械の技能資格習得も10種目と
就業能力向上の目的は達成したと考える。

②事業の成果及び改善点

環境・リサイクル分野の従事者育成プログラムを通し、ニート歴11年の受講生に就労意
識を持たせ、就職に結びつけたことは成果と言える。
改善点として、受講生の募集活動についての周知が不十分で、予想していたより問合わ
せが少なかった。それに伴い受講生の年齢も当初の予定とは異なり、50代が受講する形
となった。よりきめ細かい社会ニーズを把握するために企業アンケートの実施も検討すべ
きと考える。

③次年度以降における課題・展開

次年度以降、同分野の学科を持つ専門学校に対して、地域連携型の参考事例として本事業成果を普及させたい。また自校としても本事業成果を更に発展させ地域人材育成に活用して行く。

④成果の普及

本校校舎にて、開発したプログラムの実績報告を実施委員会メンバー、姉妹校、協力企業、合わせて20名の参加で3月3日実績報告会を開催した。